



●イタリアのギター製作史

ニューヨークのメトロポリタン美術館では“ギター・ヒーロー：伝説の職人：イタリアから米国へ”というタイトルの新しい展示が、2月9日から7月4日まで一般に公開されている。出品されているのは80本の楽器で、19世紀から20世紀にかけてイタリアからニューヨークにもたらされたギターの名工のルーツをたどるという企画。

展示の焦点は、ジョン・ダンジェリコ（1905-1964）、ジェームス・ダキスト（1935-1995）、ジョン・モンテレオーネ（1947-）といった楽器製作者たちの現代のギター作品に至るまでのイタリア・ギター史の進化にある。こうしたイタリア人製作者たちは、ヴァイオリンのアーチトップと言われる、表面板が平面ではない曲線の設計を、彼らのギターに取り入れた。この技法は、ヴァイオリン同様マンドリンの製作において歴史的に有名なナポリの伝統に起源がある。18世紀後半から19世紀にかけて、ナポリの楽器製作者たちは、弦楽器の製作者として最高の評価を得ていた。その多くが米国に移住し、ニューヨークで楽器製作の仕事で定着させた。

展示場のショーケースには、美術館が蒐集した15世紀から16世紀に製作された数多くの楽器が展示され、当時の職人の技がどのように発展し、現在の製作者に伝えられたかを示している。私が驚いたのは、ストラディヴァリウスのギターが1本展示されていることだ。これは世界に現存する4本のギターの1本

で、サウスダコタ州にある国立音楽博物館の好意により展示されている。アントニオ・ストラディヴァリが1700年に製作したこのギターは“ローリンズ”ギター（“The Rowlin’s” guitar）として知られている。この楽器は、イタリアのクレモナで作られたもので、スプルースとメイプルと黒檀を材料に、復弦5コースで、木製のペグが使われおり、長さ91センチ、幅21センチ。ヘッドの裏側には、“Ant. Stradivarius, Cremonen, F.1700”とオリジナルの刻銘がある。我々が知る限り、ストラディヴァリのギターは、表面板にはスプルースが、側面板と背面板にはメイプルが使用された最も初期のギターである。こうした材料は、ヴァイオリンに使われたものと同じで、現在でもアーチトップギターの製作者が使う標準的な材料である。

1700年代の中ごろ、ナポリの製作者はマンドリンの新しい設計を考え出した。それは表面板に与える弦の力を等しく配分するために、ブリッジの下のところで表面板を少し傾けるような構造に変更するというもの。結果として弦のピッチが高くなり、音も大きくなった。美術館の所蔵品の中で、この設計による最高傑作は1781年にアントニオ・ヴィナッチャが製作した楽器である。スプルース、鼈甲、真珠母、金合金と象牙が使われたこの楽器は、象牙と黒檀のフレットがついた鼈甲の貼られた23の縦溝に特徴がある。ボディの側面は、縁取りされた鼈甲と、金箔をかぶせた表面に貝殻と真珠と金合金で花模様を描かれ、精巧に飾りたてられている。ヴィナッチャ家は、19世紀に入ってからも6弦ギターを作っていた。

●アメリカに住むイタリア人製作者の草分け

ニューヨークで働いた最初のイタリア人楽器製作者の中には、1840年にイタリアのヴェネチアからアメリカに来たジョセフ・E・ピニがいる。彼は、1846年に、コンサート・ギタリストとして、ダウタウン・マンハッタンのブロードウェイとアン・ストリートの角にあるP.T.バーナム・アメリカン・ミュージアムで演奏した。同じ年、彼がギターのブリッジの設計で革新をもたらした

ことが“科学のアメリカ誌”（Scientific America magazine）で取り上げられた。ピニはアメリカの市民権を取り、ニューヨークの北に移り、そこで1877年に亡くなるまで、息子のアントニオと共にギターを作り続けた。ピニが、ギターの表面板の裏側に張る力木構造の設計で特許を申請したのは1870年だった。メトロポリタン美術館には、その特許を利用して、ニューヨークのジョン・ハワード・フット社が、スプルースとローズウッドと黒檀を使って製作した初期のギターが展示されている。

ニューヨークの下町には、1875年から1915年にかけて、数多くのイタリア人が移民してきて築いた“リトル・イタリア”と呼ばれる区域がある。記録によると、最初にニューヨークに来たイタリ



アントニオ・ストラディヴァリ作
「ローリンズ」
1700年イタリア・クレモナ

ア人のマンドリン製作家は、ナポリの北東モルコーネ出身のアンジェロ・マンネッコである。彼はニューヨークのブロンクスに店を構えたが、1893年にシカゴで開催されたアメリカ大陸万国博覧会において、彼の作ったマンドリンに注目が集まり、銅賞を獲得した。これよりもさらに精巧な装飾をほどこした2本のマンドリンが、セントルイスの万博について書かれた1904年ミュージック・トレード・レビューの記事に取り上げられ、宣伝用の写真に使われた。メトロポリン美術館は、1972年にマンネッコ家から献上されたマンネッコ・マンドリンを2本所有している。このマンドリンは、裏側が象牙と鼈甲でおおわれ、中央には蔓に絡んだ女性が描かれ、糸巻き裏の金属プレートには、オルフェウスの楽器である古代ギリシャのハーブのイメージが細部にわたり織り込まれている。

● 3人のイタリア人製作家

今回の展示で取り上げられた現代イタリア・ギター製作家の1人であるジョン・ダンジェリコは、1905年に、マンハッタン島の南モットストリートのテーラーの家に生まれた。楽器職人である叔父のラファエル・チアニのところで、彼が働き始めたのは9歳の時だった。その叔父が1923年に亡くなった時、18歳になっていたダンジェリコは、店を引き継ぎ、マンドリンの製作を続けた。1920年代になりマンドリンの人気にかげりが見え始めたころ、アーチトップギターの製作を始めた。アーチトップギターの製作は、熟練を要したので、表面板がフラットなギターよりも値段が高く、1920年代の売値は100ドル以上だった。彼の職人としての優れた技能により、当時工場生産された楽器よりも質的に優れ、群を抜いた製品が作られた。彼の店がニューヨークにあったことが幸いして、ジャズギタリストたちとの接点も生まれた。ダンジェリコのギターを好んだ次世代の有名なギタリストたちの中には、ジョージ・ベンソン、エリック・クラプトン、ジョン・メイヤーが含まれている。

この展示で取り上げられた2人目の製作家であるジェイムス・ダキストは、1935年、イタリアのパレルモ出身で、ブルックリンに住むイタリア系アメリカ人の家庭に生まれた。ダキストがダンジェリコの店で働き始めたのは、彼が17歳になった1953年のことだった。使い走りの丁稚からスタートし、徒弟職人になり、その後ダンジェリコが高齢で体調をくずした時に、ダンジェリコのギター製作の跡を継げるレベルになるまで、ダキストは働き続けた。1964年に、ダンジェリコが心臓発作で59歳で亡くなったとき、彼の家族は、実質的な息子



アンジェロ・マンネッコ作
(1900年ニューヨーク)
マンドリンの裏面の細部

だったダキストに店を買い取らせ、ダンジェリコのギター製作を続けるように勧めた。

ダキストが事業を始めた当初いろいろな不運に遭遇した。例えば、事業資金を借りる際、貸主が彼の事業のオーナーになることに同意するという書面にサインしてしまうというミスがあった。最後の災難は、1965年のクリスマス日に、彼のニューヨークの店に泥棒が入り、彼が製作したすべての楽器を盗まれたことだ。ダキストは、ニューヨークのファームングデイルに移転し、増幅用のピックアップをビルトインした彼独自のギターの製作を始めた。彼の知名度が

高まるにつれて、彼の楽器に注目する演奏家が現われ、その中には、ジム・ホールやポール・サイモンがいた。ダキストは、1995年、彼の恩師と同じ年齢の59歳で他界した。

今回の展示で取り上げられた3人目の製作家は、1947年に職人の家に生まれたジョン・モンテレオーネである。彼は、1970年に音楽教育学の学位を携えてミズーリ州のターキオ大学に入学し、友人たちの楽器の修理を始めた。彼は、1970年代の若手楽器製作家の1人として、1930年代から1950年代にかけて作られた、造形部分が傷んだギターの修理をした。モンテレオーネが、ダキストの職場を知って連絡を取るようになり、それがきっかけで徒弟職人に誘われた。ダキストは、最終的に、彼の楽器を修理させる目的でモンテレオーネを雇った。モンテレオーネは、不要な倍音を除去するために弦の振動を止める装置や、演奏家の手に適した指板など、マンドリンの基本設計を変えることによって有名になった。1979年、彼は6弦のクラシカルギターと6弦のアーチトップギターを作るためにブロンクスのマリオ・マッカフェリと共同作業をした。2009年には、ギタリストのマーク・ノッブラーがギター製作家へのオマージュとして〈モンテレオーネ〉という歌を録音したが、この曲は“ダイアー・ストレイツ”のアルバム『幸運を得よう』(“Dire Straits” album, Get Lucky)に収録されている。

伝統的なイタリアのギターが、古典的な構造からどのように発展して、現在ニューヨークで活躍するギター製作家たちに引き継がれてきたかを示した魅力的な展示品の概略をレポートしたが、メトロポリアン美術館が用意している無料ダウンロード・アプリケーションにアクセスすれば、展示されているギターの写真など詳細な情報を入手できる。

<http://itunes.apple.com/us/app/met-guitars/id414964902?mt=8>